

GREETINGS

学生フォーミュラ大会を振り返って

「第16回 全日本 学生フォーミュラ大会」は9月4日から8日までの5日間、静岡県小笠山総合運動公園（エコパ）にて開催されました。

台風21号が近畿・東海地域を直撃するコースを辿ったため、影響が大変心配されましたが、結果的には、半日の遅れのみですべての審査を終えることができました。大会スタッフの皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、参加いただきましたチームの皆様へ厚く御礼申し上げます。

大会を通して皆さんの眼差し・表情・真摯に取り組む姿に大いに感銘を受けました。そして、この大会がものづくりの教育として非常に有意義なプログラムであり、将来の自動車エンジニアの育成にとって欠かすことができない場であることを改めて実感しました。大会会場では、自動車関連の多くの企業の皆様が大会スポンサーとして企業PRコーナーに出展されており、学生さんたちとの交流の場としての役割も果たしております。また、本大会も16回を重ね、多くのOB・OGが大会スタッフとして大会の運営に様々な形で参画していただいております、ある種恩返



大会委員長

葛巻 清吾

Seigo Kuzumaki

(トヨタ自動車)

し的な流れもできつつあります。

今年の大会はエントリー締め切り時点では国内外から138チームのエントリーがあり、その後、書類選考や辞退を経て、最終的に93チームが大会出場となりました。また大会来場者数は5日間で延べ約1万7千名を数えました。

大会の結果は、ICVクラスでは大阪大学チームが8年ぶり2度目の総合優勝を飾り、EVクラスでは名古屋大学チームがEVクラスの

総合連覇となりました。本当に、おめでとうございます。

全体を通してみると、技術車検通過チームは75チーム（前年79チーム）、エンデュランス完走53チーム（前年39チーム）という結果になり、完走チームは昨年を大きく上まわり、全体にレベルアップが見られました。今後も各チームともさらなる良い結果を目指し、来年の大会へ向けて新たなスタートをきっていただきたいと思います。

また、皆さんの頑張りを広く知って戴くために今年からTV放映も開始しました。今後も本大会をより一層盛り上げていきたいと思っておりますので、引き続きご支援の程よろしくお願ひします。

最後になりましたが、本大会の開催・運営に際し、後援、協賛をいただいた産学官関係機関の皆様、多大なご協力をいただきました地元静岡県、掛川市、袋井市の関係者の皆様、また、大会スタッフやスポンサーとしてご協力をいただきました企業、大学関係者の皆様、そして事務局の皆様方に、主催者を代表して心より厚く御礼申し上げます。

GREETINGS

第16回 全日本 学生フォーミュラ大会を 振り返って

第16回大会は昨年とは大違いで天候に振り回される大会となりました。初日の台風通過で大きなスケジュール変更を余儀なくされ、またその後も秋雨前線の影響で断続的に豪雨に襲われるなど、自然からの想定以上の攻撃に見舞われました。そんな中でも半日遅れで組み直したスケジュールで実行し、全審査を無事実施することができましたのは、大会に参加いただいたチームの皆さまや審査員・スタッフの方々に柔軟に対応いただいたこと、および様々な団体、企業の皆さまのご協力の賜物であると考えております。大会を運営する実行委員会を代表して、深く御礼申し上げます。

■今大会の重点項目…… スタジアム周辺を使用しない 大会運営の再構築

さて、前回大会ではチームピットとして使用していたスタジアム周辺が、今年はワールドカップラグビー2019日本大会の準備工事のため使用することができないと知らされていたため、今大会ではそれに対応する準備が必要でした。



大会実行委員長

玉正 忠嗣

Tadashi Tamasho
(日産自動車)

基本的な審査のスケジュール構成は、好評であった昨年のを踏襲することとしたのですが、会場のレイアウトや運営については再構築する必要性がありました。チームピットを動的審査エリアの近くのP11駐車場に配置することは、第12回大会まで行われており、それをベースに98チーム対応への拡張、当時課題となっていた暑さ・トイレなどの生活対応、それに悪天候対応を中心に準備を進めてい

きました。

98チーム対応に伴い、静的審査会場がチームピットと離れるレイアウトとなりました。今回のレイアウトでは、交通量が多くなるためスムーズな移動が鍵となります。過去の大会において、ちょっとした段差のある場所で競技車両の渋滞がたびたび発生していました。事前にチームに段差の情報を提供し、対応をお願いしたところ、いろいろなユニークな方策が見られました。おかげさまで段差では渋滞が発生することなく、スムーズな運営の一助となったと感じています。対応、ありがとうございました。

生活対応としては、暑さ対策として直射日光を遮るためのテントを可能なかぎり設置、冷房をかけたバス、かき氷など冷たいものを提供するお店の導入、いつも行列ができていたトイレに関しては冷房のついたトイレカーを配備するとともに、簡易トイレを大幅に増設しました。今年の夏は強烈な猛暑であったため暑さ対策に力をいれていたのですが、大会期間中で

GREETINGS

は避暑対応のつもりだったテントが皮肉にも雨よけに大活躍することになりました。

悪天候に対しては、台風がいちばんの強敵なのですが、台風の中では審査ができないとの前提で、半日単位でのいろいろな長さの中断に対応できるスケジュールを準備していました。しかし、1日中断してしまうとエンデュランスが20周では実施できないことも分かっており、なんとか半日ずれで実施したく、今回のようなスケジュールで進めるにいたりしました。

■大会運営結果

台風の影響で1日目のスタートが限定的になったものの、2日目の午後からはフルに稼働する約半日遅れのスケジュールで運営しました。静的審査は、当初予定されていた審査時間の長さをそのまま確保して実施しました。動的審査に関しては、最終日の交流会と表彰式を実施しないことにより半日遅れをカバーする時間を確保しました。参加台数で見ると、昨年に対してアクセラレーションとスキッドパッドが微増、オートクロス

が微減、エンデュランスが微増と、天候に恵まれず、途中何度か中断もあったのですが、全体として昨年とほぼ同数レベルとなりました。チームのピット設営と静的審査が並行で行われたり、静的審査と動的審査の間の時間が短かったりと、なにかと準備で忙しい状況があったかと思います。皆さまの対応に感謝いたします。

エンデュランスの完走台数は昨年の39台から53台と大きく増加し、レベルアップが確認できました。そのうちEVでは(昨年：完走2台／参加9台)から(今年：完走6台／参加7台)と完走台数、完走率とも大きく成長しました。また、エンデュランスも後半になるにつれ、路面状況が悪いながらもラップタイムの更新が続くなど、素晴らしい走行が続き、非常に盛り上がり、引き締まった大会になったと感じております。チームの皆さまが1年間で築き上げてきたもの・ことの凄さを感じ、感動をおぼえました。毎年のことではありますが、この大会を素晴らしいものにしていただいている皆さまの頑張りにあらためて感謝いたします。

チームピットとしてスタジアム周辺が使えなかったこと、度重なる降雨に翻弄されたことなど、昨年からの違いはいくつもありましたが、大会全体が小さいエリアで行われたことでのプラス要素もいくつかあり、大会全体としましては大会後のアンケートでもそれなりの評価をいただきました。もちろん、意見もたくさんいただいておりますので、今後の大会の参考にして参ります。

次回の大会も、ワールドカップラグビー2019日本大会でスタジアムが使用できないため、ほぼ同じ状況での開催となるかと思えます。チームの皆さまにおかれましても、今回の経験を、来年に向けての活動に生かしていただければと思います。

■最後に

いろいろな方々の協力に支えられ、2年間の大会実行委員長の任を終えることができました。本当にありがとうございました。

学生フォーミュラ活動を続けられる方、就職される方、進路はいろいろだと思いますが、今後も皆さまといろいろな場で顔をあわせられることを楽しみにしています。

CONTENTS

第16回 全日本 学生フォーミュラ大会 目次

Schedule

DAY 1	9.4	(TUE)
DAY 2	9.5	(WED)
DAY 3	9.6	(THU)
DAY 4	9.7	(FRI)
DAY 5	9.8	(SAT)

第1部 レビュー

002	学生フォーミュラ大会を振り返って 大会委員長 葛巻 清吾
003	第16回全日本学生フォーミュラ大会を振り返って 大会実行委員長 玉正 忠嗣
005	目次
006	主催・後援・協賛・大会スタッフ
007	大会スポンサー
008	受賞チーム表彰
009	大会概要/審査概要
010	イベントスケジュール

最優秀賞受賞校解説レポート

011	最優秀デザイン賞	U.A.S. Graz
013	最優秀プレゼンテーション賞	神戸大学
015	最優秀コスト賞	日本工業大学

審査講評

017	車検イベント 動的イベント	松浦 孝成 中澤 広高
018	コストと製造審査 プレゼンテーション審査	鈴木 健 増田 貴彦
019	EV審査 デザイン審査	白井 和成 長谷川 淳一
	・ベスト三面図賞	鈴木 弘道
	・ベストエアロ賞	赤坂 啓
	・ベストコンポジット賞	高石 新
	・エルゴノミクス賞	影山 邦衛
	・ベストサスペンション賞	塚本 将弘
	・CAE特別賞	井上 豪

特別表彰

023	ベスト電気回路設計賞	シーメンス・メンター オートモティブ
	グッドアキュムレータコンテナデザイン賞	プライムアースEVエナジー
024	フォトダイアリー	
029	パット・クラーク氏からのメッセージ	
031	学生フォーミュラの今を考える	OB座談会

第2部 大会記録集

ICVクラス

1	京都工芸繊維大学	38
2	芝浦工業大学	39
3	名古屋工業大学	40
4	日本自動車大学校	41
6	Tongji University	42
7	名城大学	43
8	東京理科大学	44
10	千葉大学	45
11	静岡大学	46
12	大阪大学	47
13	福井大学	48
14	東京都市大学	49
15	日本工業大学	50
16	岡山大学	51
18	茨城大学	52
19	立命館大学	53
20	大阪工業大学	54
21	早稲田大学	55
23	東海大学	56
24	National Tsing Hua University	57
25	ホンダテクニカルカレッジ関東	58
26	東京農工大学	59
28	上智大学	60
29	九州工業大学	61
30	山梨大学	62
31	山口東京理科大学	63
32	神戸大学	64
35	岐阜大学	65
36	久留米工業大学	66
37	大阪産業大学	67

38	日本大学生産工学部	68
39	金沢工業大学	69
41	ものづくり大学	70
42	金沢大学	71
44	Prince of Songkhla University	72
45	Universitas Gadjah Mada	73
46	宇都宮大学	74
47	北海道大学	75
48	岡山理科大学	76
49	鳥取大学	77
50	新潟大学	78
51	愛知工業大学	79
52	北九州市立大学	80
54	千葉工業大学	81
55	明星大学	82
56	東京大学	83
57	トヨタ名古屋自動車大学校	84
58	埼玉大学	85
59	崇城大学	86
60	帝京大学	87
61	近畿大学	88
62	日本大学理工学部	89
63	摂南大学	90
65	九州大学	91
66	富山大学	92
67	静岡工科大学	93
68	Sebelas Maret University	94
69	大阪府立大学	95
71	広島工業大学	96
72	東京工科大学	97

76	U.A.S. Graz	98
77	同志社大学	99
79	工学院大学	100
80	群馬大学	101
81	首都大学東京	102
83	広島大学	103
86	Universiti Putra Malaysia	104

EVクラス

E1	名古屋大学 EV	105
E3	東北大学 EV	106
E4	Tongji University EV	107
E6	一関工業高等専門学校/岩手大学 EV	108
E7	神奈川大学 EV	109
E8	トヨタ名古屋自動車大学校 EV	110
E13	専門学校トヨタ東京自動車大学校 EV	111
E14	豊橋技術科学大学 EV	112
E15	National Tsing Hua University EV	113
E16	Guangdong University of Technology EV	114
E19	INSTITUT TEKNOLOGI SEPULUH NOPEMBER EV	115
E21	九州工業大学 EV	116

117	審査結果
119	集合写真/会場図

Organization & Officials of the Competition

主催・後援・協賛・大会スタッフ

主催

公益社団法人 自動車技術会

後援

文部科学省
経済産業省
国土交通省
静岡県
掛川市
袋井市
掛川商工会議所
袋井商工会議所
日本自動車工業会
日本自動車部品工業会
NHK
TBS

静岡新聞社・静岡放送
静岡朝日テレビ
静岡第一テレビ
テレビ静岡
静岡エフエム放送(K-mix)
朝日新聞社
読売新聞社
毎日新聞社
日本経済新聞社
日刊工業新聞社
フジサンケイビジネスアイ
日刊自動車新聞社

協賛

産業技術総合研究所
交通安全環境研究所
日本自動車研究所
日本私立大学協会
日本私立大学連盟
公立大学協会
国立高等専門学校機構
日本工学会
日本ゴム工業会
計測自動制御学会
潤滑油協会
日本機械学会
日本工学会協会
日本工作機械工業会

日本ゴム協会
日本材料学会
日本自動車タイヤ協会
日本設計工学会
日本陸用内燃機関協会
溶接学会
日本自動車車体工業会
日本自動車整備振興会連合会
日本自動車機械器具工業会
日本自動車連盟
日本自動車販売協会連合会
土木学会
全国自動車大学校・整備専門学校協会
電気学会

大会スタッフ

【本部】 大会委員長 葛巻清吾 (トヨタ自動車) 大会副委員長 竹村 宏 (本田技研工業) 大会副委員長 豊増俊一 (日産自動車)
大会副委員長 東 雄一 (自動車技術会) 大会実行委員長 玉正忠剛 (日産自動車)

【車検】 審査リーダー 松浦孝成 (堀場製作所)

長沢一也	本田技術研究所	江藤圭夫	ダイハツ工業
大室良文	本田技術研究所	岡本和也	ダイハツ工業
石井和幸	マイスタークラブ	牧瀬貴慈	三菱自動車工業
菊池文明	マイスタークラブ	福嶋大吾郎	三菱自動車工業
宮田卓英	マイスタークラブ	龍 重法	堀場製作所
黒澤達夫	マイスタークラブ	石川達夫	堀場製作所
飯塚政雄	マイスタークラブ	仲野敬一	堀場製作所
古城裕嗣	マイスタークラブ	丹羽亮太	堀場製作所
村越弘昌	マイスタークラブ	西潟海斗	堀場製作所
井出 温	マイスタークラブ	長橋佑器	堀場製作所
吉野文隆	マイスタークラブ	中村一樹	いすゞ自動車
山田 滋	マイスタークラブ	辻田 悟	いすゞ自動車
関口昌邦	マイスタークラブ	上野竹美	いすゞ自動車
高山博之	マイスタークラブ	狩野康行	小野測器
加世山秀樹	本田技研工業	丸下麻衣	小野測器
秋月信也	日産自動車	竹澤 諒	小野測器
小俣延明	日産自動車	寺尾美輝	小野測器
高島航一	日産自動車	毛利康祐	小野測器
久保光広	日産自動車	本田 篤	川崎重工業
松本保志	トヨタ自動車	田島 淳	川崎重工業
清水健一	トヨタ自動車	川治孝之	UDT・ラックス
古賀諒磨	トヨタ自動車	栗田修一	横浜ゴム
塩原大介	トヨタ自動車	古野 翔	カルソニックカンセイ
森山信一	トヨタ自動車	近藤和也	豊田自動織機
影山卓也	トヨタ自動車	天野勝弘	静岡理工科大学
千葉康智	スズキ	鹿内佳人	静岡理工科大学
原直孝	ヤマハ発動機	飯島寛良	日本大学
荒牧 耀	ヤマハ発動機	吉田幸司	日本大学
西 英之	マツダ	関谷敦司	日本大学
竹田淳平	マツダ	安藝雅彦	日本大学
菅川真一	マツダE&T	三宅 博	ボランティア
平山卓史	マツダE&T	清水俊成	ボランティア

【静的審査】 デザイン審査リーダー 長谷川淳一 (トヨタ自動車) ルセプション審査リーダー 増田真彦 (ショーワ) コスト&製造審査リーダー 鈴木 健 (ボランティア)

中原雄二	本田技術研究所	宮澤裕治	アイシン精機
井澤純一	本田技術研究所	細谷和宏	いすゞ自動車
薄 功大	本田技術研究所	平井雄一郎	いすゞ自動車
久保克博	本田技術研究所	加藤泰平	いすゞ自動車
熊谷吉彦	本田技術研究所	渋谷弘之	いすゞ自動車
馬場雅之	本田技術研究所	和泉泰平	川崎重工業
伊藤 浩	本田技術研究所	川端大介	ジャスコ
山本浩敬	日産自動車	鎌田大輝	ジャスコ
後藤明之	日産自動車	伊藤友昭	日野自動車
西本幸司	日産自動車	清水朋成	トヨタ車体
森岡 宇	日産自動車	澤井勝志	日本発条
赤坂 啓	日産自動車	深口直也	愛知機械工業
田谷 要	日産自動車	松島寛明	NSKワーナー
倉地星也	日産自動車	伊代田泰司	NSKワーナー
丸山英樹	日産自動車	佐藤孝之	オーテックジャパン
梅木志保	日産自動車	西 徹	カルソニックカンセイ
河西直之	トヨタ自動車	柄尾成彦	住友工業
安 彰往	トヨタ自動車	小野昌朗	東京アールアンドデー
塚本将弘	トヨタ自動車	菊地茂美	東京アールアンドデー
井上 豪	トヨタ自動車	高石 新	東京アールアンドデー
田代 寛	スズキ	南 智広	東京アールアンドデー
清水悠介	スズキ	中村卓哉	童夢
出田浩之	スズキ	林 裕人	豊田自動織機
屯田洋史	スズキ	井上雅司	豊田自動織機
高橋昇平	ヤマハ発動機	石川尚紀	日立オートモティブシステムズ
包 振竜	ヤマハ発動機	田村小百合	日立オートモティブシステムズ
児玉典陽	マツダ	安武祐樹	日本精工
北野純希	マツダ	中出千秋	アプス
笠原康一	マツダ	藤原拓也	SGLカーボンジャパン
大谷幸司	SUBARU	荒金洋平	アイヴィックス
下澤知巳	SUBARU	渡野 淳	ポッシュ
播磨健司	SUBARU	高嶋良保	ポッシュ
上田 啓	ダイハツ工業	戸田宗敬	ボランティア
古田公保	ダイハツ工業	望月広光	ボランティア
清水良祐	ダイハツ工業	影山邦衛	ボランティア
沖野一郎	三菱自動車工業	宮坂 宏	ボランティア
鈴木弘道	三菱自動車工業	若松和夫	ボランティア
射延泰二	デンソー	社本 薫	ボランティア
田中崇剛	デンソー		
沢田 護	デンソー		

【動的審査】 審査リーダー 中澤広高 (本田技術研究所)

浅川晋宏	本田技術研究所	小林大志	SUBARU
安井亮平	本田技術研究所	金山皓介	ダイハツ工業
中島亮平	本田技術研究所	平尾卓士	ダイハツ工業
藤井達也	本田技術研究所	福塚啓司	ダイハツ工業
大河原悠介	本田技術研究所	武田健太	ダイハツ工業
和田紗奈香	本田技術研究所	前川弘孝	三菱自動車工業
長谷川澄平	本田技研工業	渡部直輝	三菱自動車工業
塚越 崇	本田技研工業	木戸聖也	三菱自動車工業
山口翔希	日産自動車	次木浩二	デンソー
日吉翼	日産自動車	寺田拓美	デンソー
加藤慎也	トヨタ自動車	安形 新	デンソー
鳥生誠二	トヨタ自動車	村田晃宏	アイシン精機
渡辺保利	トヨタ自動車	松崎勝太	川崎重工業
中島 崇	トヨタ自動車	中村謙太	川崎重工業
山元規裕	トヨタ自動車	吉野大和	トヨタエレクトロニクス
曾田一志	トヨタ自動車	杉田高隆	ジャスコ
山田新九郎	トヨタ自動車	池田大輔	ジャスコ
井上 旭	トヨタ自動車	松坂 俊	日野自動車
安藤伸悟	トヨタ自動車	馬場浩太郎	日野自動車
寺村正人	トヨタ自動車	原成智仁	トヨタ車体
前野真一	トヨタ自動車	渡邊 聡	トヨタ車体
工藤英貴	トヨタ自動車	塚塚 馨	トヨタ車体
岡森貴史	トヨタ自動車	石川博章	ヨロズ
古橋直弥	スズキ	佐藤健也	ヨロズ
山口大輔	スズキ	松本和也	ケーヒン
西城雄二	ヤマハ発動機	堤 圭司	ケーヒン
中村公昭	ヤマハ発動機	松原圭佑	東洋ゴム工業
奥田裕也	ヤマハ発動機	和田一哉	日信工業
横井正人	ヤマハ発動機	喜多智之	プレス工業
高居京平	ヤマハ発動機	大田隆司	トヨタ自動車東日本
浅野太志	ヤマハ発動機	佐々木啓啓	トヨタ自動車東日本
丸山智志	マツダ	久大信孝	ホンダテック/フォート
永原 宙	マツダ	木本雄登	ホンダテック/フォート
楊 昌龍	マツダ	小林拓哉	ホンダテック/フォート
山下 修	マツダ	日出同仁	オートテックジャパン
大田恭平	マツダE&T	松岡尚吾	オートテックジャパン
東久保翔	マツダE&T	位田晴良	福井工業大学
千葉弘太	SUBARU	松崎通範	ボランティア
和氣寛暁	SUBARU		

【EV】 審査リーダー 白井和成 (デンソー技研センター)

朝倉 優	本田技術研究所	山本泰樹	トヨタ自動車
中尾和人	本田技術研究所	土屋慶幸	トヨタ自動車
黄 國洋	本田技術研究所	奥田祐也	トヨタ自動車
柘澤 明	本田技研工業	堀内敦司	スズキ
山上滋春	日産自動車	金澤恵介	マツダ
井上景介	日産自動車	藤岡真也	マツダ
鶴野亜王	日産自動車	戸祭 衛	SUBARU
河原 智	トヨタ自動車	田中幸宏	SUBARU
西条公啓	SUBARU	柳田靖人	ダイキン工業
堀居直幸	三菱自動車工業	桜木拓也	ダイキン工業
古市哲也	三菱自動車工業	中尾亮平	日立製作所
種田良司	三菱自動車工業	中西利明	プライムアースEVエナジー
中村錠治	デンソー	深澤 保	ピュース
小林 豊	コマツ	宮村智也	ホンダテック/カルカレッジ関西
茅野浩之	コマツ	狩野芳郎	神奈川工科大学
水野雄太	カルソニックカンセイ	中村雅哉	中部大学

【運営】 大会実行委員長 玉正忠剛 (日産自動車)

砂子直人	本田技術研究所	池内祥人	トヨタ自動車	松本知之	スズキ	山本 隆	デンソー	関口美沙樹	アイシン精機	渡邊史奈	トヨタテック/カルティ/ロバート	今井太一	ボランティア
小林正朋	本田技術研究所	宮野公美子	トヨタ自動車	小宮山大地	スズキ	熊谷直也	デンソー	山田住彦	アイシン精機	宮脇拓也	山田製作所	中辻万平	ボランティア
山本大地	本田技術研究所	藤本哲也	トヨタ自動車	種田和宏	スズキ	柳田悦豪	デンソー	市岡萌子	アイシン精機	水野貴大	大豊工業	海田一哉	ボランティア
清水康生	本田技術研究所	石川佳紀	トヨタ自動車	渡邊一希	ヤマハ発動機	越田賢人	デンソー	浅井優太	アイシン精機	土屋高志	一関高等学校	住中 真	ボランティア
高橋健太	本田技術研究所	山岸康一	トヨタ自動車	清水良祐	ヤマハ発動機	森多花梨	デンソー	滝村義一	アイシン精機	本田康裕	国土院大学	中村 博	ボランティア
松澤光敬	本田技術研究所	小野泰志	トヨタ自動車	石飛貴大	ヤマハ発動機	辻 夏央	デンソー	篠原大輝	アイシン精機	児玉知明	国土院大学	松浦義和	ボランティア
橋本将太	本田技術研究所	生原尚季	トヨタ自動車	尾崎 由	ヤマハ発動機	中野佑里香	アイシン精機	竹本翔一	いすゞ中央研究所	田中慎也	神奈川工科大学	元橋麻理子	ボランティア
宇都宮一馬	本田技術研究所	藤岡真也	マツダ	鄭 少聰	ヤマハ発動機	塚本 恵	アイシン精機	結城昭彦	いすゞ自動車	高須慎廣	神奈川工科大学	平本賢一	ボランティア
松岡 誠	本田技研工業	藤岡真也	マツダ	西本英幸	ヤマハ発動機	中野佑里香	アイシン精機	後藤信一	いすゞ自動車	松本慎吾	神奈川工科大学	佐藤京平	ボランティア
前原洋一	本田技研工業	岡 秀樹	スズキ	原口貴大	マツダ	熊野聖人	アイシン精機	川瀬達也	いすゞ自動車	和田悠平	神奈川工科大学	中川朋哉	ボランティア
宮崎光明	本田技研工業	杉本尚輝	スズキ	平尾繁美	SUBARUテクノ	内野岳人	アイシン精機	大迫翔平	日本発条	平城真太郎	静岡大学	石井はるか	ボランティア
小峠 諒	本田技研工業	丁 磊	スズキ	湯原 聡	ダイハツ工業	森 雅斗	アイシン精機	駒崎由樹	oSPACE Japan	福田充宏	静岡大学	今野貴史	ボランティア
大野慎也	本田技研工業	大橋武彦	スズキ	亀井宏貴	三菱自動車工業	森 雅斗	アイシン精機	アパルーバート	トヨタテック/カルティ/ロバート	森 修一	トヨタ東京自動車大学校		
増田隆彦	日産自動車	石井 樹	スズキ	上島歩夢	三菱自動車工業	藤原拓也	アイシン精機	新村俊雄	トヨタテック/カルティ/ロバート	坂本正実	大阪産業大学		
宮澤綾子	日産自動車	北山 周	スズキ	松浦拓弥	三菱自動車工業	荒木敬史	アイシン精機	栗原菜々子	トヨタテック/カルティ/ロバート	鈴木光裕	ボランティア		
江上真弘	日産自動車	小嶋創人	スズキ	田嶋昭博	三菱自動車工業	荒木敬史	アイシン精機	栗原昌子	トヨタテック/カルティ/ロバート	両角岳彦	ボランティア		
田沼理菜	日産自動車	野田智哉	スズキ	佐藤 陽	デンソー	福田啓介	アイシン精機	立野未来	トヨタテック/カルティ/ロバート	植村智明	ボランティア		

Event Sponsors

大会スポンサー

大会スポンサー

※S~E=クラス

S	トヨタ自動車株式会社
	日産自動車株式会社
	本田技研工業株式会社
	日立金属株式会社
	株式会社SUBARU
	マツダ株式会社
	三菱自動車工業株式会社
	パソナR&D株式会社
	ポッシュ株式会社
	株式会社タマディック
A	IPG Automotive株式会社
	NOK株式会社
	株式会社VSN
	アイシン精機株式会社
	株式会社エッチ・ケー・エス
	川崎重工株式会社
	スズキ株式会社
	ダイハツ工業株式会社
	株式会社デンソー
	株式会社童夢
B	日本精工株式会社
	株式会社ニフコ
	日立オートモティブシステムズ株式会社
	株式会社ブロードリーフ
	株式会社ホンダテクノフォート
	株式会社山田製作所
	ヤマハ発動機株式会社
	株式会社タチエス
	株式会社ヨロズ
	UDトラック株式会社
C	市光工業株式会社
	日野自動車株式会社
	dSPACE Japan株式会社
	KYB株式会社
	Magneti Marelli Japan株式会社
	NTN株式会社
	Siemens-Mentor Automotive
	SOLIZE株式会社
	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
	株式会社アドヴィックス
D	アルテアエンジニアリング株式会社
	イータス株式会社
	いすゞ自動車株式会社
	株式会社インターテクノ
	エイヴィエル ジャパン株式会社
	エイティース株式会社
	株式会社エクセディ
	株式会社エフ・シー・シー
	エフティテクノ株式会社
	オイレス工業株式会社
E	株式会社オーテックジャパン
	株式会社オートテックジャパン
	株式会社オートバックスセブン
	オリジン電気株式会社
	株式会社カーメイト
	カルソニックカンセイ株式会社
	キグナス石油株式会社
	協和工業株式会社
	株式会社ケーヒン
	株式会社神戸製鋼所
サンデン・オートモーティブコンポーネント株式会社	
山王テック株式会社	
株式会社ジェイテクト	
信濃機販株式会社	
ジヤトコ株式会社	
ジヤトコエンジニアリング株式会社	
新日本特機株式会社	
ストーブリ株式会社	
住友電装株式会社	
積水化成工業株式会社	
ゼット・エフ・ジャパン株式会社	
ソリッドワークス・ジャパン株式会社	
タイコ エレクトロニクス ジャパン株式会社	
株式会社タダノ	
株式会社ティン	
東京アールアンドデーグループ	
東レ・カーボンマジック株式会社	
トビー工業株式会社	
トヨタ自動車東日本株式会社	
株式会社豊田自動織機	
トヨタ紡織株式会社	
ナブテスコオートモーティブ株式会社	
日産車体株式会社	

B	日本イーエスアイ株式会社
	一般財団法人日本自動車研究所
	ニッパツ
	フォルシア・ジャパン
	株式会社フジクラ
	プライムアースEVエナジー株式会社
	ボルグワーナー・モルソンシステムズ・ジャパン株式会社
	マールジャパン株式会社
	株式会社マツダE&T
	株式会社ミクニ
C	株式会社ミツバ
	三菱電機株式会社
	三ツ星ベルト株式会社
	矢崎総業株式会社
	株式会社ヤナセ
	株式会社ユニバース
	株式会社大成社
	トーテックアメニティ株式会社
	株式会社PX
	NSKワーナー株式会社
D	出光興産株式会社
	株式会社ヴァレオジャパン
	ウイエンマン ジャパン株式会社
	株式会社エイチワン
	株式会社キャタラー
	株式会社ソフトウェアクレイドル
	ダイキョーニシカワ株式会社
	トヨタ車体株式会社
	一般社団法人日本自動車部品工業会
	ブリッド株式会社
E	武蔵精密工業株式会社
	DMG森精機株式会社
	株式会社GSユアサ
	HPCシステムズ株式会社
	株式会社JTB 浜松支店
	JXTGエネルギー株式会社
	Means Japan 合同会社
	SUBARUテクノ株式会社
	THKリズム株式会社
	愛三工業株式会社
F	愛知機械工業株式会社
	株式会社アネブル
	アルパイン株式会社
	アルプス電気株式会社
	株式会社いすゞ中央研究所
	イワフジ工業株式会社
	オートリフ株式会社
	岡谷鋼機株式会社
	興津螺旋株式会社
	株式会社小野測器
G	株式会社カネカ
	株式会社河村工機製作所
	株式会社享成自動車学校
	株式会社キリウ
	株式会社クボタ
	株式会社国営アルミ製作所
	サトーパーツ株式会社
	株式会社三五
	株式会社榛葉鉄工所
	住友ゴム工業株式会社
株式会社セキソー	
H	ゼネラルエンジニアリング株式会社
	株式会社センサータ・テクノロジーズ・ジャパン
	ティ・エス テック株式会社
	株式会社デンソーテン
	株式会社トイファクトリーインターナショナル
	株式会社東海理化
	東洋ゴム工業株式会社
	トータルテクニカルソリューションズ株式会社
	豊田合成株式会社
	南条装備工業株式会社
I	株式会社日産オートモーティブテクノロジー
	日本トムソン株式会社
	日本ミシュランタイヤ株式会社
	株式会社パーチャルメカニクス
	株式会社バイオラックス
	萩原エレクトロニクス株式会社
	パナソニック株式会社
	株式会社日野ヒューテック
	株式会社深井製作所
	布施真空株式会社
J	株式会社ブリヂストン
	有限会社ベア

K	株式会社堀場製作所
	マグナ・インターナショナル・ジャパン株式会社
	三菱自動車エンジニアリング株式会社
	村田ボーリング技研株式会社
	株式会社モビテック
	株式会社ヤシカ車体
	有限会社谷津商事
	有限会社ヤマダ
	ヤンマー株式会社
	株式会社ユタカ技研
L	袋井商工会議所
	MathWorks Japan
	SHコンサルティング株式会社
	アイシン・エアロ株式会社
	アイシン高丘株式会社
	明石機械工業株式会社
	いすゞエンジニアリング株式会社
	白井国際産業株式会社
	内山工業株式会社
	株式会社エイ・ダブリュ・エンジニアリング
M	大阪フォーミング株式会社
	大野ゴム工業株式会社
	株式会社オフア
	株式会社オティックス
	鬼怒川ゴム工業株式会社
	岐阜車体工業株式会社
	株式会社小金井精機製作所
	サンキン株式会社
	株式会社ジーエーティー
	シーシーアイ株式会社
N	ジェイアイ傷害火災保険株式会社
	株式会社ショーワ
	株式会社スカイ
	鈴与グループ
	株式会社ソーシン
	大成プラス株式会社
	大同メタル工業株式会社
	太平洋工業株式会社
	大豊工業株式会社
	高田工業株式会社
O	高橋工機株式会社
	株式会社ダッド
	田中精密工業株式会社
	株式会社船屋
	ディーブステージ
	デュージャパン株式会社
	デンソーテクノ株式会社
	株式会社東日製作所
	東洋電装株式会社
	株式会社戸田レーシング
P	株式会社トノックス
	豊田鉄工株式会社
	株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント モデリスタ本部
	西川ゴム工業株式会社
	株式会社ニチリン
	日本コーティング工業株式会社
	日本精機株式会社
	日本特殊陶業株式会社
	株式会社配線コム
	浜名湖電装株式会社
富士シャフト株式会社	
Q	富士ブレーキ工業株式会社
	プレス工業株式会社
	株式会社ボンフォーム
	株式会社マツモトセイコー
	ミヤコ自動車工業株式会社
	ヤマハモーターエンジニアリング株式会社
	ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社
	ユニオン電商株式会社
	横浜ゴム株式会社
	リョービ株式会社
渡辺工業株式会社	
R	法多山名物だんご企業組合

協力

大塚製薬	日本大学理工学部
小野測器	ブリヂストン
静岡県小笠山総合運動公園(エコバ)	ポッシュ
首都大学東京	堀場製作所
中東遠総合医療センター	落雷抑制システムズ

Team Awards

受賞チーム表彰

●総合表彰

賞名	受賞校	概要	提供	
経済産業大臣賞	大阪大学	全ての審査に参加し、総合得点が最も高いチーム	経済産業省	
国土交通大臣賞	名古屋大学 EV	安全技術、環境技術、新技術の評価が高いチーム	国土交通省	
静岡県知事賞	大阪大学	静的審査、エンデュランスを除く動的審査、騒音、消費効率、安全、軽量化努力の評価が高いチーム	静岡県	
掛川市長賞	京都工芸繊維大学	動的審査の得点が最も高いチーム	掛川市	
袋井市長賞	名城大学	静的審査の得点が最も高いチーム	袋井市	
日本自動車工業会会長賞	京都工芸繊維大学 / 芝浦工業大学 / 日本自動車大学校 横浜国立大学 / Tongji University / 名城大学 / 東京理科大学 静岡大学 / 大阪大学 / 福井大学 / 東京都市大学 / 岡山大学 KASETSART UNIVERSITY / 茨城大学 / 大阪工業大学 静岡理工科大学 / ホンダテクニカルカレッジ関東 / 東京農工大学 九州工業大学 / 山梨大学 / 山陽小野田市立山口東京理科大学 岐阜大学 / 大阪産業大学 / 日本大学 生産工学部 / ものづくり大学 Universitas Negeri Yogyakarta / Prince of Songkla University Universitas Gadjah Mada / 愛知工業大学 / 北九州市立大学 埼玉大学 / Sebelas Maret University / U.A.S. Graz Kumoh National Institute of Technology / Kongju National University 名古屋大学EV / 一関工業高等専門学校 / 岩手大学EV / トヨタ名古屋自動車大学校EV / 豊橋技術科学大学EV / National Tsing Hua University EV	全ての静的・動的審査に参加し、完走・完走しているチーム (書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティが無いこと)	日本自動車工業会	
日本自動車部品工業会会長賞	名城大学	エンデュランス完走チームのうち、コスト審査、プレゼン審査、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム	日本自動車部品工業会	
ICV総合優秀賞	1位 大阪大学 2位 京都工芸繊維大学 3位 Tongji University	4位 U.A.S. Graz 5位 名城大学 6位 芝浦工業大学	全ての審査に参加し、ICVクラスで総合得点が最も高いチーム	小野測器
EV総合優秀賞	名古屋大学 EV	全ての審査に参加し、EVクラスで総合得点が高いチーム	ビュース / 静岡県	

●総合成績

順位	Car No.	学校名	TotalScore
1	12	大阪大学	853.34
2	1	京都工芸繊維大学	840.46
3	E1	名古屋大学EV	776.51
4	6	Tongji University	774.46
5	76	U.A.S. Graz	740.24
6	7	名城大学	739.59

●種目別表彰

賞名	受賞校	概要	提供
デザイン賞	1位 U.A.S. Graz	デザイン (設計) 審査の得点が最も高いチーム	オーテックジャパン
	2位 名古屋大学EV		
	3位 Tongji University EV		
コスト賞	1位 日本工業大学	コスト・製造審査の得点が最も高いチーム	NOK
	2位 大阪大学		
	3位 金沢大学		
プレゼンテーション賞	1位 神戸大学	プレゼンテーション審査の得点が最も高いチーム	東洋ゴム工業
	2位 芝浦工業大学		
	3位 Universitas Gadjah Mada		
加速性能賞	1位 千葉大学	アクセラレーション (加速性能) 審査の得点が最も高いチーム	住友ゴム工業
	2位 Tongji University		
	3位 名古屋大学EV		
スキッドパッド賞	1位 U.A.S. Graz	スキッドパッド審査の得点が最も高いチーム	横浜ゴム
	2位 京都工芸繊維大学		
	3位 上智大学		
オートクロス賞	1位 京都工芸繊維大学	オートクロス審査の得点が最も高いチーム	ブリヂストン
	2位 大阪大学		
	3位 U.A.S. Graz		
耐久走行賞	1位 京都工芸繊維大学	エンデュランス (耐久走行) 審査の得点が最も高いチーム	MOTUL
	2位 Tongji University		
	3位 大阪大学		
省エネ賞	1位 豊橋技術科学大学EV	消費効率審査の得点が最も高いチーム	日本ミシュランタイヤ
	2位 National Tsing Hua University EV		
	3位 Tongji University EV		

●特別表彰

賞名	受賞校	概要	提供
ルーキー賞	ICVクラス Kumoh National Institute of Technology / Kongju National University	日本大会初参加で総合得点が最も高いチーム	ジェイアイ傷害火災保険
	EVクラス 豊橋技術科学大学EV		
ジャンプアップ賞	1位 愛知工業大学	全ての審査に参加し、前回大会比で最も総合得点を向上させたチーム	ニッコーレーシングジャパン 袋井商工会議所
	2位 帝京大学		
	3位 一関工業高等専門学校 / 岩手大学EV		
最軽量化賞 (ICV)	1位 上智大学 2位 ホンダテクニカルカレッジ関東 3位 静岡理工科大学	エンデュランスを除く全ての審査に参加した最軽量化車両のチーム	深井製作所
最軽量化賞 (EV)	1位 豊橋技術科学大学EV		
CAE 特別賞	1位 U.A.S. Graz	CAE技術の評価が最も高いチーム	アルテアエンジニアリング
	2位 Tongji University		
	3位 茨城大学		
ベスト三面図賞	1位 神戸大学	設計行為の集大成である"図面"を通じて審査員に最も多くの情報を的確に伝えたチーム	東京アールアンドデー
ベストエアロ賞	1位 U.A.S. Graz	オートクロスまでを完走したチームの中で、レーシングカーとしても最も効果的な空力解析及び熱流体解析を行い、実践したチーム	東京アールアンドデー
ベストコンポジット賞	1位 U.A.S. Graz	軽量化、強度/剛性、見栄え等の観点でレーシングカーとして最も高完成度なコンポジットパーツを実現したチーム	東京R&Dコンポジット工業
エルゴノミクス賞	1位 U.A.S. Graz	レーシングカーとしてのドライビングポジション、ペダルやハンドルの操作性、メーターの視認性など人間工学的に優れたデザインを実現したチーム	ブリット
	2位 KASETSART UNIVERSITY		
	3位 大阪大学		
ベスト・サスペンション賞	1位 U.A.S. Graz	サスペンション性能評価が最も高いチーム	ゼットエフ・ジャパン
	2位 大阪大学		
	3位 京都工芸繊維大学		
ベストラップ賞	1位 千葉大学	エンデュランスのラップタイムが最も速いチーム	キグナス石油
	2位 岡山理科大学		
	3位 立命館大学		
ベスト電気回路設計賞	1位 一関工業高等専門学校 / 岩手大学 EV	電気回路設計が最も優れているチーム	シーメンス・メンター オートモーティブ
	2位 Tongji University EV		
	3位 Central South University EV		
グッドアキュムレータコンテナデザイン賞	1位 Tongji University EV	アキュムレータコンテナのデザインの評価が最も高いEVチーム	プライムアースEVエナジー
	2位 豊橋技術科学大学EV		
	3位 名古屋大学EV		